

令和4年度を振り返って

柔道専門部 委員長 中村 利之

本年度の各大会において、京都府中体連事務局の方々をはじめ、関係者の皆様のご指導、ご協力のお蔭をもち、大会運営はもとより、出場選手が自己の持てる力を十分に発揮することができ、大きな怪我や事故なく無事に終えられたことを心より感謝致します。試合会場である京都市武道センター職員の方々、そして各学校の顧問の先生方には大変お世話になりました。改めて厚く御礼申し上げます。

さて、柔道は、昨年度開催された東京オリンピックを受け、一部ルール改正が行われ、4月より中体連においても施行されました。「技の連続」「技あり認定」「めくり技」等の12項目が新たに適応されました。ルール改正が行われたことで、一本を取るためにしっかり組んで大きな技を掛けるという競技力がさらに要求されるようになりました。

今年度の夏の大会は記録的な猛暑の中執り行われることとなり、熱中症対策と新型コロナウイルス対策を実施しながらの大会運営となりました。空調の効いた会場ではありましたが、経口補水液を完備したことや、定期的に館内放送で注意喚起を行うなど、できる限りの配慮を行い大会運営いたしましたところ、幸い大きな事故もなく無事に大会を終えることができました。これも会場の確保や、物品等を十分に用意していただいたことが大きく、関係者の皆様には感謝いたしております。脳震盪や頸椎損傷などの重大事故防止もふくめ、今後も安全に留意した大会運営を心掛けていきたいと思っております。

近畿大会及び全国大会報告

8月6日（土）、7日（日）奈良県五條市シダアリーナで開催された近畿中学校総合体育大会で、個人戦では坂本四葉さん（女子70kg 超級・宇治）が見事優勝、大東飛真くん（男子50kg 級・黄檗）、日垣翔心くん（男子66kg 級・京都文教）、中村太海くん（男子90kg 超級・京都先端）、が準優勝、小川楽功くん（男子55kg 級・京都先端）、山陰大空くん（男子73kg 級・藤森）、海島帝龍くん（男子90kg 級・京都文教）、田村羽月さん（女子70kg 超級・同志社）が第三位という成績を収めました。以上の入賞選手をはじめ出場選手それぞれが近畿の強豪選手を相手に好試合を展開してくれました。

福島県須賀川アリーナで開催された全国中学校柔道大会では、団体戦男子の京都文教中が予選リーグ突破しベスト16への進出を果たしました。女子団体戦の京都先端中は予選リーグで敗退でしたが全国の強豪相手に健闘してくれました。

個人戦では、大東飛真くん（男子50kg 級・黄檗）が見事優勝、坂本四葉さん（女子70kg 超級・宇治）が3位に入賞し全国の強豪を相手に素晴らしい成績を収めてくれました。